



公益社団法人自動車技術会 中部支部

2020年度 通常総会

議案書 簡易版

[議案1] 2019年度 支部事業報告の件

概 要

公益社団法人としての社会的責任および会員への責任を果たすため、**中部支部の特性を活かし、会員相互の交流と自己研鑽を支援するとともに、会員へのサービス向上をめざし、有意義な行事運営に努めてきた。**

(行事数58回、参加人数4,246名)

活動のポイント

1. 中部支部改革の実行と定着の推進

- ①技術者育成事業の拡大（内容・回数・定員）
- ②役員会の統廃合によるスリム化
- ③社会貢献活動の充実（新教材）

2. 会員増強活動

新技術領域(CASE, MaaSなど)技術者の
入会をターゲットとした新規事業の検討

改革は支部事業として狙い通り進捗

新技術領域事業については、WGを立ち上げ
次年度以降も検討を継続

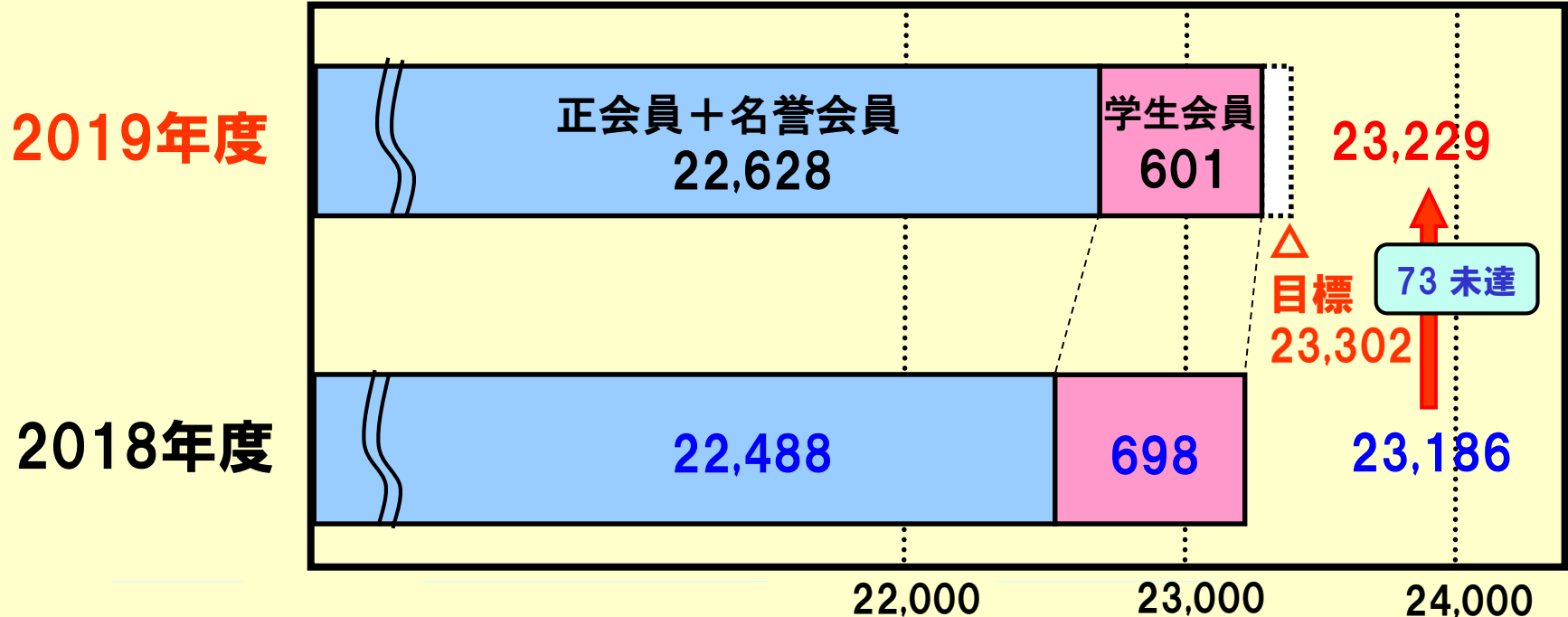
2019年度詳細

1) 会員数推移

目標を下回り **23,229名**となる。

※自動車業界だけにとどまらず、新技術領域分野を
視野に入れたさらなる魅力ある事業活動の推進

個人会員数（3月末現在）



2) 役員会 担当幹事会、合同役員会を9回開催した。

3) 支部事業

▼見学会 昨年度に引き続き**幅広いジャンル**から**見学先**を選定し14回計画したが、見学先都合、新型コロナウイルスの影響により12回の実施となった。
参加者455名

No	月	見学先	分野	No	月	見学先	分野
1	4月	島津製作所 本社・三条工場	異業種	8	10月	愛知機械工業 熱田工場	エンジン
2	5月	ヤマハ発動機 本社工場	自動車	9	11月	名古屋大学 NIC	研究所
3	6月	中央精機 本社事業所	部品	10	11月	三菱重工航空エンジン	異業種
4	7月	シチズン時計マニユファクチャリング 飯田殿岡工場	異業種	11	12月	本田技研工業 鈴鹿製作所	自動車
5	9月	トヨタ紡織 猿投工場	部品	12	1月	スズキ 相良工場 中止	自動車
6	9月	JERA 川越火力発電所	異業種	13	2月	日本製鉄 名古屋製鉄所	材料
7	10月	ジェイテクト 奈良工場	部品	14	3月	ヤマザキマザックマニユファクチャリング 美濃加茂製作所 中止	異業種

▼技術講習会 5回開催 参加者681名

CASE、MaaS、話題の車など幅広い分野のテーマを取り上げ、実車展示や講師との交流の場を提供した。

講演風景



講師との意見交換



実車展示



▼技術交流会 2回開催 参加者 85名

WEBを活用した質問・討議内容の事前アンケートを行い当日の討議活性化を図った結果、全体討議、グループ討議ともに大変好評であった。

	第1回	第2回
開催日	7月12日（金）	1月31日（金）
テーマ	クルマのモデルベースデザイン	クルマの電動化
会場	豊田中央研究所 厚生センター	刈谷市産業振興センター
参加者	52名	33名



▼技術者懇談会 中堅/若手/女性 各1回開催

会社・経歴の枠を超えた相互の研鑽と交流の場を提供した。

・中堅技術者懇談会

日 時:10月3日・4日

会 場:邦和セミナープラザ

テーマ:中堅技術者の悩みと解決法

参加者:32名



講演

・若手技術者懇談会

日 時:11月28日・29日

会 場:邦和セミナープラザ

テーマ:若手技術者の悩み
と解決法

参加者:36名

グループ討議



オリエンテーション

・女性技術者懇談会

日 時:2月14日

会 場:KKRホテル名古屋

女性アドバイザを1名→4名とし、女性主体で企画、運営
パネルディスカッション:上手な時間の作り方、使い方

参加者:24名



▼体験型講習会

「見る」「聴く」に加え「**体験する**」ことと、**若手・中堅の活性化**を目的に2018年度から事業化した。(技術者育成事業の拡大)

	一般	学生
開催日	11月1日(金)	11月2日(土)
テーマ	日常では経験できない 車の挙動体験会	ドライビングスキルアップ プログラム
会 場	キョウセイ交通大学	キョウセイ交通大学
参加者	38名	20名



▼学生自動車研究会

走行技術トレーニング及び静的審査合格に向けたサポート活動を中心に推進した。

第17回全日本学生フォーミュラ大会

2019年8月27日～31日

小笠山総合運動公園(エコパ)

中部支部 6年連続表彰台獲得
名古屋工業大学チームが総合優勝！
名古屋大学チームが総合第3位、EV優勝



名古屋工業大学(総合優勝)



名古屋大学(総合3位・EV優勝)

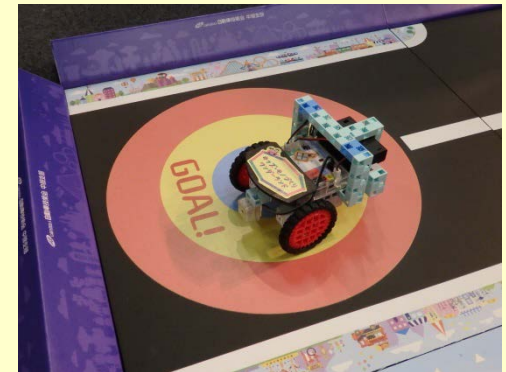
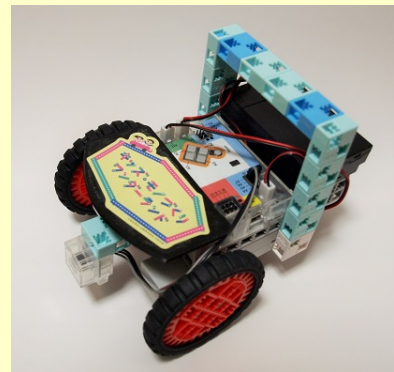
▼社会貢献「キッズ・モノづくりワンダーランド」

中部7県で合計10回開催、延べ854人の子供たちが参加。
新教材であるロボットカーの**本格運用を開始**した。

風に向かって走れ！ウインドカー



《新教材》
プログラミングを学ぼう“ロボットカー”



エンジン分解・
組立て体験教室



▼支部報発行

No.85 **限界に挑む**
(24,560部)



No.86 **うつりゆく**
(24,700部)



▼ワーキング活動

会員サービス向上を目的に、**講演会、研究発表会**の企画・運営をワーキング活動として実施した。

会 場	中部支部総会	人とくるまのテクノロジー展2019名古屋	
イベント	講演会	講演会	研究発表会
内 容	「あうんの呼吸で動くロボットを着よう」	「移動総量を増やして豊かな人生をつくる ～移動の効率化の先にあるもの～」 「自動運転を支える半導体技術と課題」	パワートレイン、環境、シャシー・ボデー、生産技術、要素技術をテーマに16件発表
開 催 日	6月6日(木)	7月17日(水)	7月18日(木)
参 加 者	135名	599名	506名



総会：講演会



人テク展：講演会



人テク展：研究発表会

[議案2] 2019年度 支部会計決算報告の件

単位:円(除消費税)

科 目		2019年度 予算(a)	2019年度 実績(b)	差額 (b)-(a)
収入	当期収入合計(A) 交付金+事業収入	28,440,000	27,895,973	▲ 544,027
	繰越金取崩し収入	0	0	0
	当期収入合計(B) (A)+繰越金取崩し	28,440,000	27,895,973	▲ 544,027
	前期繰越収支差額	6,777,506	6,777,506	0
	収入合計(C) (B)+前期繰越収支差額	35,217,506	34,673,479	▲ 544,027
支出	事業費	28,584,000	27,274,742	▲ 1,309,258
	当期支出合計(D)	28,584,000	27,274,742	▲ 1,309,258
当期収支差額 (B)-(D)		▲ 144,000	621,231	765,231
次期繰越収支差額 (C)-(D)		6,633,506	7,398,737	765,231

[議案3] 2019年度 支部事業 および会計監査報告の件

監 査 報 告

2019年度事業および会計の監査を行った結果、いずれも適正かつ正確であることを認めます。

2020年4月24日(金)

監査役 岡坂 仁志 

監査役 佐々木 憲夫 

[議案4] 2020-21年度 支部役員の件

1.支部理事候補者(敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
愛三工業(株)	宮越 博規	(株)コンポン研究所	田中 俊明	大豊工業(株)	鈴木 徹志
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	山本 義久	(独)産業技術総合研究所	千野 靖正	(株)ダッド	久保田 知久雄
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	上田 幸男	(株)ジェイテクト	杉山 幸一	(株)デンソー	山中 康司
アイシン精機(株)	江口 勝彦	静岡理工科大学	荒木 信幸	(株)デンソー	竹内 克彦
アイシン精機(株)	塩田 章人	ジャトコ(株)	吉野 智昭	(株)デンソー	近藤 浩
アイシン精機(株)	佐々木 信	スズキ(株)	鈴木 正倫	デンソーテクノ(株)	沢田 行雄
アイシン高丘(株)	村山 富幸	スズキ(株)	鈴木 直樹	(株)東海理化	水野 善之
愛知機械工業(株)	竹岡 正毅	スズキ(株)	神代 英俊	豊田合成(株)	加古 純一郎
(株)アドヴィックス	近藤 功一	(株)SOKEN	鳥谷尾 哲也	トヨタ自動車(株)	海田 啓司
臼井国際産業(株)	梅澤 勝志	大同メタル工業(株)	吉田 有宏	トヨタ自動車(株)	葛巻 清吾

1. 支部理事候補者 続き (敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
トヨタ自動車(株)	加古 慈	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	鷺山 達也	三重大学	池浦 良淳
トヨタ自動車東日本(株)	永田 雅久	トヨタ紡織(株)	足立 昌司	三菱自動車工業(株)	澤瀬 薫
トヨタ自動車東日本(株)	早川 準人	トヨタ紡織(株)	小島 和美	三菱自動車工業(株)	塩崎 弘隆
(株)豊田自動織機	松本 洋	豊橋技術科学大学	河村 庄造	三菱自動車エンジニアリング(株)	志水 彰夫
(株)豊田自動織機	大西 謙一	(株)ランテックス	岡本 剛	名城大学	相馬 仁
トヨタ車体(株)	小西 雄三	名古屋大学	青木 宏文	ヤマハ発動機(株)	島本 誠
トヨタ車体(株)	水潤 英紀	日本特殊陶業(株)	鈴木 啓司	合計52名	
(株)豊田中央研究所	小野 英一	本田技研工業(株)	中村 貴明		

2. 支部監査役候補者 (敬称略)

(株)SOKEN	田坂 仁志	元 (株)豊田自動織機	佐々木 憲夫
----------	-------	-------------	--------

3. 支部長、支部顧問、幹事については総会資料による

〔議案5〕 2020年度 支部方針 および事業計画の件

1. 支部方針

- (1) 公益社団法人として、中部支部の特性を活かし、社会的責任を果たすとともに会員相互の**交流と自己研鑽**を支援し、**将来の自動車産業を担う幅広い視野を持った人材の育成に貢献する。**
- ① **次世代につながる技術領域を積極的に取り入れ**情報発信するとともに、加えて会員相互の交流における技術発表の場、技術レベルの向上に資する機会を提供する。
- ② 会員自らが持つ技術を生かし、**社会貢献活動に積極的に取り組み**、ものづくりの楽しさを体験してもらう子ども向けの「ものづくり教室」等の事業を継続する。

(2)最大支部としての相応しい会員サービスを提供する。

- ①**会員へより有益な情報を提供することで、イベントへの参加のしやすさを推進し、会員の満足度向上を図る。**
その中でも、人とくるまのテクノロジー展での中部支部主催事業は継続し、**より多くの会員に参加のできる場を提供する。**
- ②**中部支部独自のイベント内容の更なる強化・充実を図り、今後の自動車業界を担う幅広い層からの参加を行える事業を目指す。**

2. 会員増強

会員数目標を**23,229名**(2019年度末会員数)以上とする。

3. 組織

講演会企画WGの**総会講演会を委員会化し、企画内容を強化する。**

4. 役員会

効率的、効果的な運営に務める。

5. 事業計画

本事業計画は2020年1月に作成しましたが、コロナウイルス感染予防対策により大幅な変更を余儀なくされております。状況により今後も変更となる可能性がありますことをご承知おき下さい。(最新状況は議案書 別紙1に記載)

見学会 CASE、MaaS、IoTなど先進技術、新規見学先等、幅広い分野の見学先を積極的におり込み計画する。

技術講習会 幅広い分野からテーマ選定、講演後に講師との個別討議時間を設け満足度向上を図る。

技術交流会 技術者・研究者の研鑽と交流を狙い、講演、全体討議、グループ討議の3部構成として計画する。

体験型講習会 一般向けの「日常では経験できない車の挙動体験」講習会を開催する。

講演会（総会） 総会併催行事として講演会を企画・運営する。

技術者懇談会 中堅・若手・女性技術者の懇談会を実施する。参加者を会員に限定せず、会員数の少ない会社にも幅広く募集する。

支部報 9月と1月の2回発行。文字サイズ、図の拡大、読者アンケート結果を反映し、読みやすい誌面を提供する。

学生自動車研究会 学生フォーミュラ大会以外の自動車技術を切り口とした魅力ある活動の充実も図る。

社会貢献（キッズ・モノづくりワンダーランド）

新教材の「ロボットカー・プログラミング」を含め、中部7県で開催する。

ワーキング活動 人とするまのテクノロジー展名古屋会場を活用し、講演会と研究発表会を企画、運営する。

広報活動 支部ニュース、HP、メルマガによりタイムリーかつ確実に情報を伝達する。

6. 新技術領域拡大ワーキング活動

新技術領域の技術者に中部支部活動、会員のメリットを知ってもらい**入会を促す**ため、WGを立ち上げ**情報の発信手段と新たな行事企画を検討**する。

イベント企画WG 新技術領域の技術者が有益性を享受できるイベントを企画立案する。

情報発信WG 非会員に向けて中部支部の事業活動、会員のメリット等を発信する。

[議案6] 2020年度 支部予算の件

<予算立案方針>

2020年度支部方針に従い、以下を織り込む

- ①会員相互の交流と自己研鑽を支援し、将来の自動車産業を担う幅広い視野を持った人材の育成に貢献する。**
- ②会員へより有益な情報を提供することで、イベントへの参加のしやすさを推進し、会員の満足度向上を図る。**

2020年度支部予算

コロナウイルス感染予防対策による事業計画の変更を織り込み、
8月末目途に予算見直しを実施予定です

単位:円(除消費税)

科 目		2019年度 決算(b)	2020年度 予算(c)	差額 (c)-(b)	<参考> 2018年度 実績
収入	当期収入合計(A) 交付金+事業収入	27,895,973	28,166,000	270,027	27,895,947
	繰越金取崩し収入	0	0	0	0
	当期収入合計(B) (A)+繰越金取崩し	27,895,973	28,166,000	270,027	27,895,947
	前期繰越収支差額	6,777,506	7,398,737	621,231	6,081,948
	収入合計(C) (B)+前期繰越収支差額	34,673,479	35,564,737	891,258	33,977,895
支出	事業費	27,274,742	28,148,000	873,258	27,200,389
	当期支出合計(D)	27,274,742	28,148,000	873,258	27,200,389
当期収支差額 (B)-(D)		621,231	18,000	▲ 603,231	695,558
次期繰越収支差額 (C)-(D)		7,398,737	7,416,737	18,000	6,777,506



公益社団法人 自動車技術会 中部支部